

普及啓発部会 活動報告書

部会長 新保文彦

1 今後の方向性と目標

「発達障がい」の啓発活動 三段階でのステップアップを目指す。

第一段階： 「知る人」を増やしたい

「発達障がい」をラベル貼りにならないようにすべての県民に正しく知ってもらう。

第二段階： 「理解している人」を増やしたい

「知る」を基本にわかってもらう、知識として理解する。

第三段階： 「行動できる人」を増やしたい

「知識」を日常生活の場面で活用できる、「知識」は使ってこそ生きる。

第一段階から第三段階まで行ける人を増やす、その為の長期戦略と効果的な短期戦略を考える。

2 来年度取り組むべきこと

① 「新型コロナウイルス」からの影響と対策について

この令和2年度の一年間は、人と人が集まっておこなう対外的な活動が難しいと個人的には考えます。 よって、発達障がい者サポーター養成講座の開催、ペアレント・メンター活動等、わたしの成長発達の普及活動、8月に開催予定の医療と福祉と教育の合同研修会の開催を、「新型コロナウイルス」対策が施され安全性が確保できるまで開催・活動を中止及び延期としたいと、部会長としては思っています。 まだ正式決定ではないので、至急 部会や運営委員会で対応を協議し、対策協議会の皆さんの判断をいただきたいと思います。

② 普及啓発部会の開催について

これを機にWeb会議、メール等を活用し頻繁かつスピーディな意見交換の回数を増やして議論を深め、次年度に備えたい。

③ 主な検討課題

- ・サポーター養成講座の講師育成プログラムの作成とその運営等のシステム化の検討。
- ・サポーター養成講座の所属別講座（教師・行政職員・企業）の内容・実施等を検討。
- ・発達障がい児・者がいる家族支援の検討（乳幼児期、学齢期・成人期）。
- ・活動の見直し及び新規活動などを検討する。

以上